

事業者行動(計画・変更計画(報告)書

2025年 6月 9日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大阪府大阪市西淀川区竹島2-3-18
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
シノブフーズ株式会社 松本 崇志

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	シノブフーズ株式会社 代表取締役社長 松本 崇志
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市西淀川区竹島2-3-18

1 事業所の概要

事業所の名称	シノブフーズ株式会社 京滋工場					
事業所の所在地	滋賀県栗東市六地藏1163					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	7	※ 産業分類・細分類名称を記載 すし・弁当・調理パン製造業
事業の概要	調理パン、スナック麺、サラダ、惣菜の製造					
従業員の数	505	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	5	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	77	台
				照明設備	643	台
				その他	曝気ブローア4台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024	年度	報告対象年度	24	年度
	終了年度	2027	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

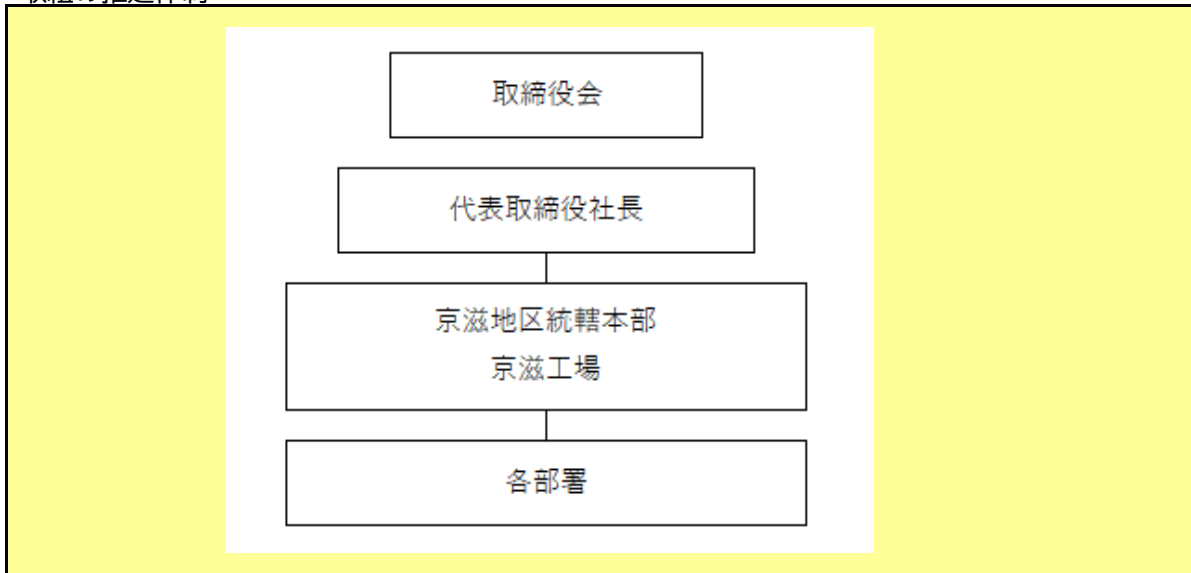
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針

1. エネルギー・資源の節約、廃棄物の削減およびリサイクルを進め、環境負荷の軽減に取り組みます。
2. 環境に配慮した商品開発、技術開発、資源調達を行います。
3. 環境に関する法律、規制を遵守します。
4. 身近な環境保全活動を通して、地域社会との共生に努めます。
5. 環境に関する社内への教育、社外への広報の強化・充実に努めます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 省エネ対策として過去より以下の取り組みを実施
- ・工場内照明機器をLEDへ更新
 - ・事務所系統エアコン温度設定季節に応じて設定し電力量の削減
 - ・機器からの排熱を回収し再利用
 - ・生産終了後の機器の停止徹底
 - ・蒸気配管フランジに保温ジャケットを巻き放熱ロスによるLPG使用量削減
 - ・食品残渣の廃棄率を低減
 - ・生ごみ処理機導入による食品残渣廃棄削減
 - ・加工し製品としては使えない一部をこども食堂へ提供
 - ・エアーコンプレッサー電力量削減の為、エアー漏れは速やかに対応し点検を行っている
 - ・エアーコンプレッサー1台増設時に制御運転のできる機種を導入
 - ・空調機更新時には省エネタイプの選定

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	高効率エアークンプレッサーの導入	令和6年度	令和7年4月導入
2	設備導入	搬入口シャッターにエアーカーテン設置し冷気漏れ防止	令和6年度	令和6年6月導入
3	運用改善	冷蔵、冷凍庫の扉開放禁止の徹底	令和6年度	実施継続中
4	設備導入	生ごみ処理機3台目の導入	令和7年度	実施計画中
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記(1)取組により原油換算エネルギー使用量昨年より低減目指す。	生産力テグリー増加に伴い生産数が増加。 CO ₂ 削減に向け設備導入を迅速的に行い来年度削減できるように目指す。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告						
		(2024)年度	()年度	()年度	()年度	()年度		
原油換算エネルギー使用量	kL	1,521	1,656					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,866	3,397					
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,866	3,397					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0					
CH ₄	t-CO ₂							
N ₂ O	t-CO ₂							
HFCs	t-CO ₂							
PFCs	t-CO ₂							
SF ₆	t-CO ₂							
NF ₃	t-CO ₂							
エネルギー等原単位の推移								

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						